



まほろばの丘から



令和4年11月4日 文責 校長 江口 尋信

たくさん学んだ修学旅行

10月19日(水)から1泊2日で、6年生が修学旅行に行ってきました。目的地は例年どおり、長崎市とハウステンボスです。長崎市では、原爆資料館や浦上地区を中心とした原爆遺構を見学し、「戦争と平和」について学習をしてきました。現在、ロシアがウクライナを侵攻し、多くの市民が犠牲となっていることが報道されています。中には、ロシアが核兵器を使用する可能性も否定できないという信じがたい報道もなされています。それだけに、原爆資料館や原爆遺構をみる子どもたちの目は真剣そのものでした。



フィールドワークで学ぶ子どもたち

便利な世の中になり、わたしたちは容易に、短時間にインターネットで知識を得ることができます。しかし、実際に自分で歩き、五感を使って感じ・考えることに勝る学習はありません。この修学旅行の学習経験は、平和を希求する心情や態度の育成につながるのだと思います。また、2日目には、班で計画を立て、ハウステンボスを大いに楽しむ子どもたちの姿が見られました。子どもたちのたくさんの笑顔が見られ、1日も早いコロナ禍の終息を願わずにはられませんでした。

6年生と一緒に旅をして、ホテルの方や添乗員さんを始め、出会った多くの方々に「素直な子どもたちですね。挨拶もとても気持ちがいいです。」というお褒めの言葉もたくさんいただきました。さすが、太西っ子の最高学年でした。

楽しかった自然教室

11月1日(火)から1泊2日で、5年生が自然教室に行ってきました。目的地は、朝倉郡筑前町にある国立夜須高原少年自然の家です。標高約400mにある施設ですので、朝夕は冷え込みましたが、昼間は天気がよく、清々しい秋の自然の中で思い切り活動を楽しむことができました。野外炊飯ではパエリアを料理し、全ての班が完食しました。自分たちで作ったこと、



フィールドビンゴを楽しむ子どもたち

自然の中で食べたことで、より一層おいしく感じたのだらうと思います。(わたしもおいしくいただきました!)夜はキャンドルの集いを行いました。サプライズとして、学校から10人以上の職員が応援に駆けつけ、一緒にゲームをしたりフォークダンスをしたりしたことで、盛り上がりはピークに達しました。2日目は、フィールドビンゴ(ウォークラリーのようなもの)です。どの班も、みんなで協力しながら、山の中の2kmのコースを歩き切りました。お昼からは、最後の活動である焼き杉クラフト活動を行いました。作品は、自然教室のよい思い出の品となることでしょう。

5年生も、日頃から6年生を見て学校生活を送っていますので、6年生同様、立派な姿をたくさん見せてくれました。自然の家の方に『ありがとうございます。』というお礼が気持ちいいですね。太宰府西小学校はいい学校ですね。」と褒めていただきました。5年生の成長をたくさん感じた2日間でした。